

H29 年度第 1 回保全事業報告会

平成 29 年度谷津干潟の日フェスタ~つながろうみちかな海とわたしたち~やつひがたサイエンスカフェ「干潟の生き物の話をしよう」

平成 29 年度保全事業の報告はサイエンスカフェの中で実施した。



<開催日時>

平成 29 年 6 月 11 日(日)13:35-13:55 谷津干潟自然観察センター レクチャールーム

<主催>

習志野市

<定員・対象>

50 名・一般参加者(高校生以上~成人)

<報告内容>

谷津干潟保全事業の報告～地域住民との魚類調査～

（発表者：関東地方環境事務所 野生生物課 源関自然保護官）

※資料

[H29 年度サイエンスカフェ_発表資料.pdf](#)

谷津干潟保全事業の報告 ～地域住民との魚類調査～



平成29年6月11日

関東地方環境事務所 野生生物課

発表内容

- ▶ 魚類調査の報告
- ▶ 谷津干潟保全事業の紹介
- ▶ 平成29年度取り組み予定



ダイシャクシギ

自己紹介

■ 関東地方環境事務所 野生生物課

源関 絢(平成26年入省)

- ・ H25.11 生物多様性センター 調査科 配属
- ・ H27.12 釧路自然環境事務所 野生生物課 配属
- ・ H28.04 成田自然保護官事務所 配属
- ・ H29.05 関東地方環境事務所野生生物課 配属

■ 事務所位置

- ・ 埼玉県さいたま市にあるビルの中

■ 業務内容

- ・ 国指定鳥獣保護区（谷津、福島潟）に関すること。
- ・ 特定外来生物防除業務
（キタリス、アルゼンチンアリ等々。。。）
- ・ 特定外来生物に関する許認可関係
- ・ 外来生物の輸出入関連について



保全事業の取り組み ～谷津干潟サポーター活動～

【谷津干潟サポーター活動】

平成24年度から開始した活動。幅広い世代の人々に谷津干潟への理解や関心を持ってもらう機会を作り、干潟の保全により多くの人々が関われるようにすることを目的とする。



バードテーブルづくり
(H25年度実施イベント)



アオサ回収(杭外側)



回収したアオサ

アオサ清掃活動と生き物しらべ
(H26年度実施イベント)

魚類調査の報告

～谷津干潟でギョギョギョッお魚調べ！～

■実施日時

平成28年10月16日（日） 10：00～14：00

■参加者 34名

小学生・中学生：15名、保護者：16名

大人：3名

環境省 関東地方環境事務所主催イベント

2016 谷津干潟保全事業
谷津干潟サポーター活動

参加無料
参加者募集

谷津干潟でギョギョギョッ
お魚調べ！

10.16日 [10:00▶14:00]

午前：干潟で魚とり(定置網) 干潟に入って魚の調査をしよう！
午後：お魚調べ「魚は何を食べてる？」お魚を解剖して調べてみよう！

※当日の天候等によりプログラムを変更する場合があります。午前のみ、午後のみの参加も可能です。
※午後のプログラムは、スタッフが行う解剖を、参加者の方々に観察、お手伝いしてもらう内容です。

干潟に関心を持ってもら
うための機会づくり

干潟内の魚類に
関する情報収集

住民参加モニタリ
ングの手法検討



魚類調査の報告

～谷津干潟でギョギョギョッお魚調べ！～

■ 1日の流れ

10月16日（日）

10:00～12:00

オリエンテーション

午前 魚類採取

魚類の分類と観察



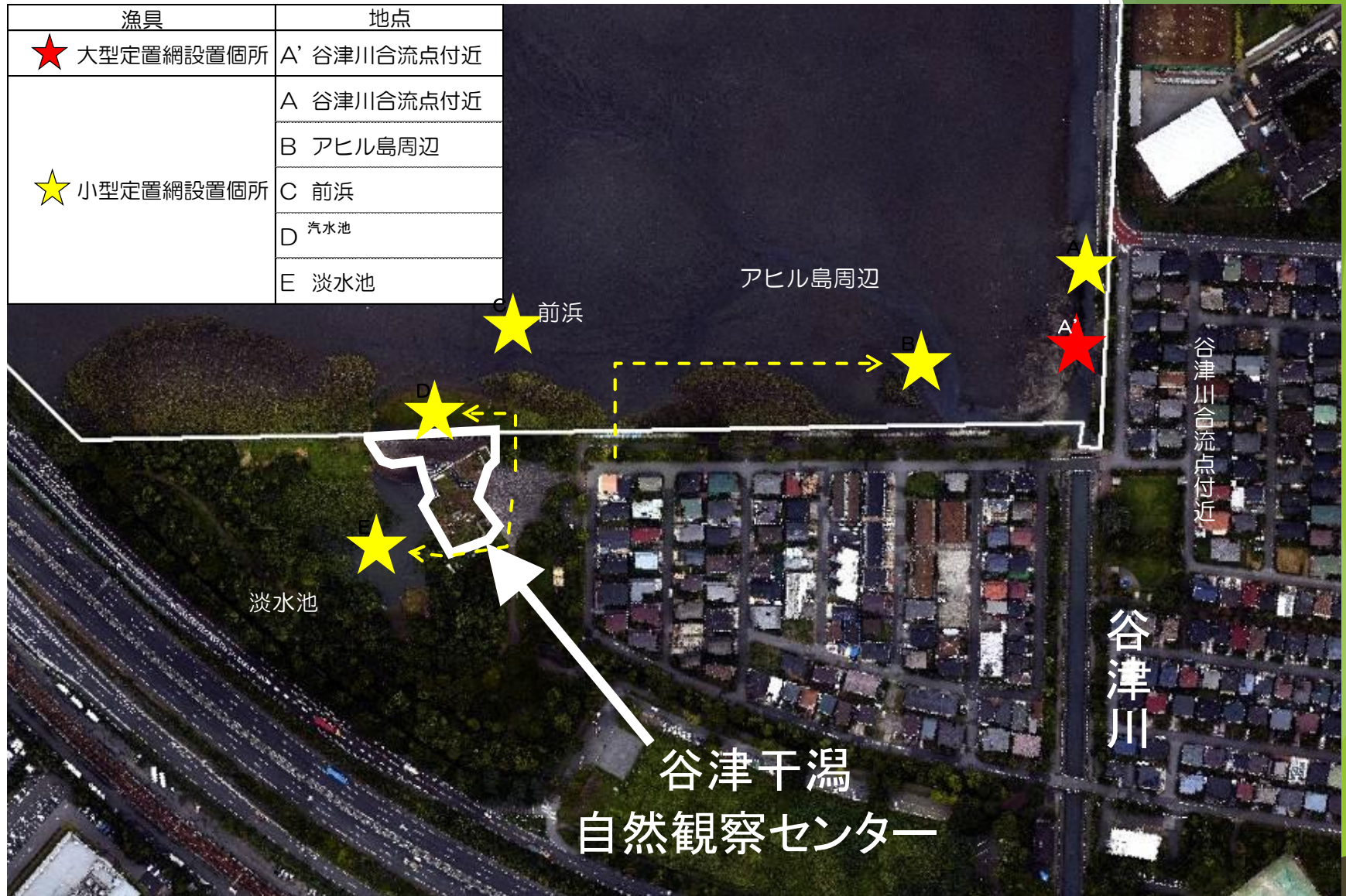
13:00～14:00

午後 ワークショップの実施
閉会



魚類調査の報告

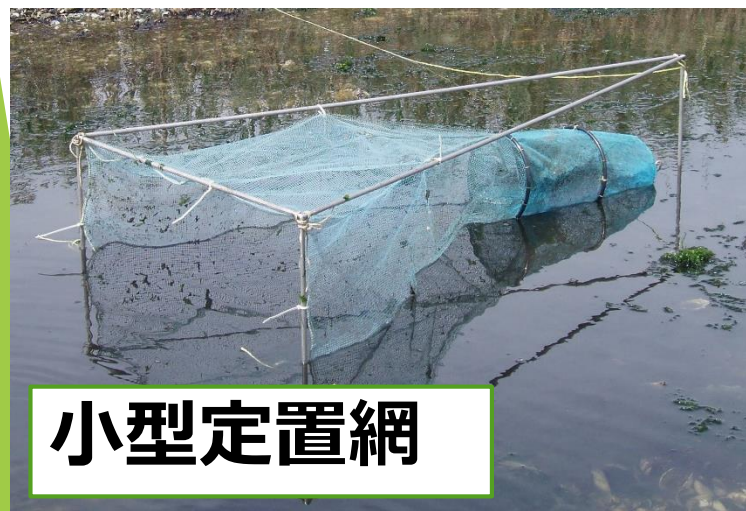
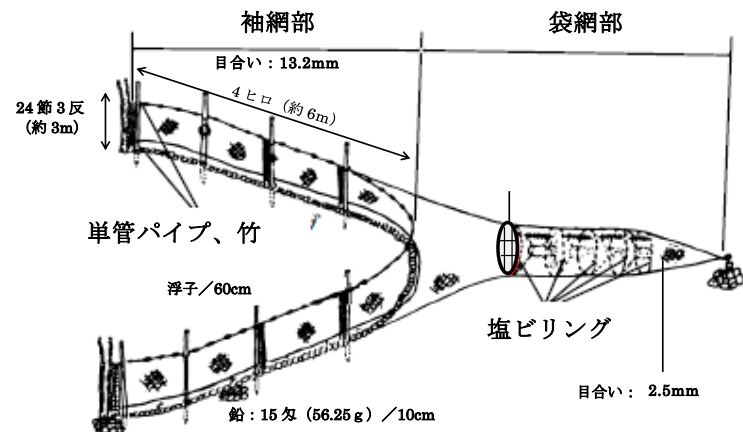
～谷津干潟でギョギョギョッお魚調べ！～



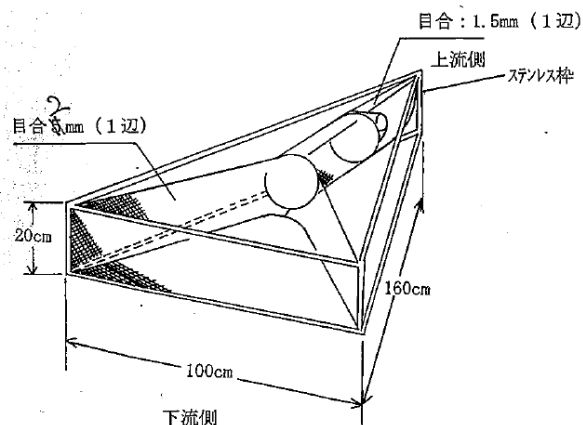
魚類調査の報告

～谷津干潟でギョギョギョッお魚調べ！～

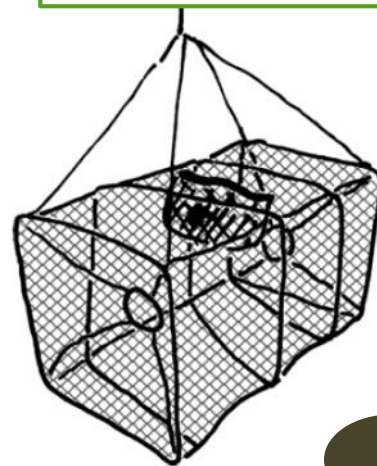
大型定置網



小型定置網



もんどり



魚類調査の報告

～谷津干潟でギョギョギョッお魚調べ！～

捕獲した魚は、姿形を観察したり、触ってどんな感触かを体験。



捕獲地点ごとに捕獲できた魚を整理することで、谷津干潟内で観察された魚類を大きく分類



魚類調査の報告

～谷津干潟でギョギョギョッお魚調べ！～

<魚類調査結果>

和名	A	B	C	D	E	総計
	谷津川 合流点	あひる島	前浜	汽水池	淡水池	
ドジョウ					4	4
カダヤシ（特定外来生物）				50以上	50以上	100
ボラ	4	5				9
ビリンゴ		1				1
マハゼ		6	3			9
アベハゼ	1	9	7			17
テナガエビ				6		6
アメリカザリガニ				1	18	19
総計	5	21	10	57	72	165



・・・淡水魚




・・・海水魚・汽水魚

魚類調査の報告

～谷津干潟でギョギョギョッお魚調べ！～

<事前調査結果>

和名/地点						
ニホンウナギ						1
ドジョウ					3	3
カダヤシ				30	20	17
スズキ						8
ボラ						1
マハゼ			1			3
アベハゼ			2	28		30
ウロハゼ						1
コウイカ類	1					1
テナガエビ						5
スジエビ						9
アメリカザリガニ						
総計	9	3	1		29	130

エイ、ドチザメ、クロダイ？といった魚も見かけられており、捕獲手法を工夫することによって、確認種数が増えるものと思われる。

魚類調査の報告

～谷津干潟でギョギョギョッお魚調べ！～



魚の餌当てクイズ



解剖による胃内容物調査



ワークショップ形式のクイズ



鳥の餌、生きもののつながりの解説

魚の餌当てクイズ、解剖による胃内容物調査をワークショップ形式で実施

谷津干潟保全事業の紹介

正式名称は、

国指定谷津鳥獣保護区保全事業

平成22年度（2010年）
から事業を開始。

鳥類（シギ・チドリ類等）が
渡来（採餌）できる
干潟環境の保全

短期的には現状維持、長期的にはラムサール条約湿地登録時(1993年)の干潟を目指し、採餌可能な面積・時間と餌となるゴカイの量(重さ)を指標として事業を実施。

周辺住民の生活環境の保全
(アオサ悪臭対策)

短期的には現状より軽減、長期的には生活する上で著しい支障がないことを目指し、アオサの腐敗状況(大気中の硫化水素濃度)を指標とし、事業を実施。

干潟の普及啓発

谷津干潟に関わる住民や行政、団体の自主的かつ積極的な取り組みが今後も継続するとともに、関係者間のより幅広い協働・連携が図られ、干潟に関わる人々の輪が広がっていく状態を目指す。

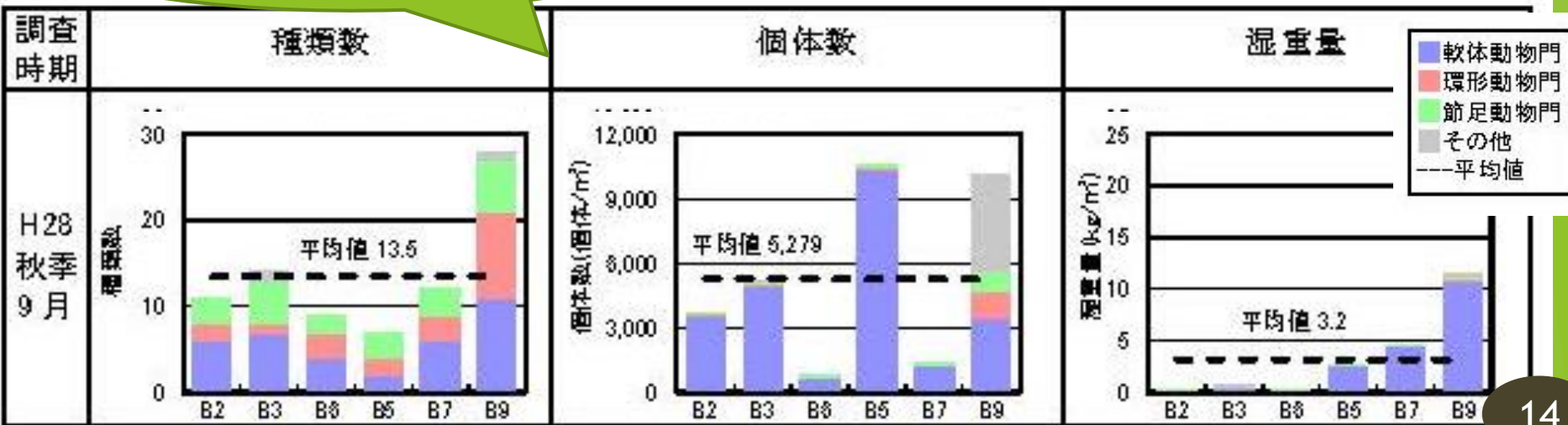
谷津干潟保全事業の紹介 ～平成28年度の取り組み～

鳥類（シギ・チドリ類等）が
渡来（採餌）できる
干潟環境の保全

鳥類の餌となる底生生物（ゴカイ類）や干潟の底質状況を把握するため毎年干潟の環境調査を実施。

<底生生物（ゴカイ類）調査> (H23年度～)

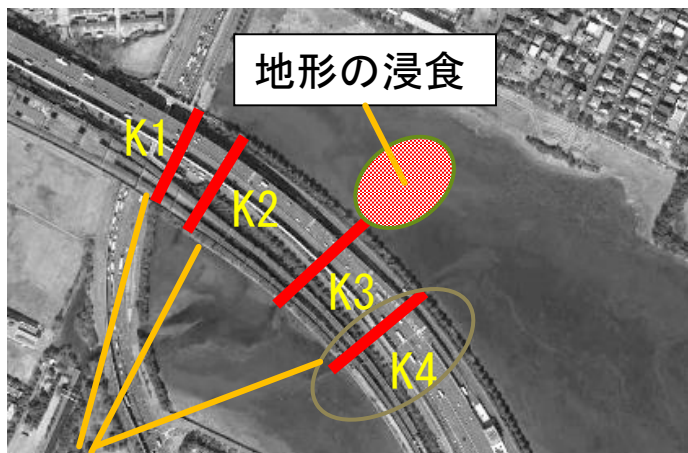
種類数、個体数は、過去調査に比べるとやや多い。



谷津干潟保全事業の紹介 ～平成28年度の取り組み～

鳥類（シギ・チドリ類等）が
渡来（採餌）できる
干潟環境の保全

干潟内で、堆積物（貝殻や土砂）の増加により、海水の出入りが阻害され、干潟の干出時間と干出面積の減少傾向。



堆積物により水交換の機能が低下

三角干潟と本体をつないでいる水路の水交換機能を回復させるための堆積物除去工事の実施を予定していたが、、



水路の構造物が塩害により、ひどく腐食・損傷していることが判明。水路内での工事が危険なことから工事を延期。

新規案として、水路への堆積物の供給源となっている箇所
の工事等の計画を作成。

谷津干潟保全事業の紹介 ～平成28年度の取り組み～

周辺住民の生活環境の保全
(アオサ悪臭対策)



腐敗してしまったアオサやゴミ等を除去するとともに、アオサの繁茂状況や硫化水素濃度をモニタリングを実施。

＜アオサ・ゴミ等の除去＞（別事業）
夏場を中心に、年間計27回のアオサ・ゴミ等の除去業務を実施。

除去したアオサ・ゴミ量：約35t

＜硫化水素の連続測定＞
(H26年度～)



＜アオサの分布・繁茂状況調査＞
(H25年度～)

	5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
2013年度									多			多			少			多	多			少				少	少	少					
2014年度		多			多	多		多							少		多					少				少			少				
2015年度						多			少					少	少	少	多			多		多	少				多	多					
2016年度	多			多				多	多			多	多	多				多															

谷津干潟保全事業の紹介 ～平成28年度の取り組み～

干潟の普及啓発

＜報告会の開催＞ (H22～)



＜住民参加モニタリングの実施＞ (H26～)

みんなで見守る谷津干潟 住民参加モニタリング

谷津干潟を保全するには、住民、行政、国、専門家等の関係機関が連携し、地域が一体となった取組を進めることが必要不可欠です。国指定谷津鳥獣保護区保全事業では、保全事業のための調査の一環として地域住民の方々と行政が一体となり取り組む「みんなで見守る谷津干潟・住民参加モニタリング」を実施しています。

「みんなで見守る谷津干潟」の一環として「ウェブサイトを用いたアオサ情報の収集」を始めました。「ウェブサイトを用いたアオサ情報の収集」では携帯電話やスマートフォンなどを活用し、住民からの情報（アオサの量、におい等）を継続的に収集します。アクセスは「国指定谷津鳥獣保護区保全事業ホームページ」・URL・QRコードよりお願いします。

谷津鳥獣保護区保全事業 <http://yatsu-hozen.com/mon/>

アオサ情報の活用例（とりまとめ結果は国指定谷津鳥獣保護区保全事業検討会に報告されます）

- アオサの量の季節変化
- アオサのにおいの分布
- 写真による干潟の状況記録

どこでもアオサ観測

「どこでもアオサ観測」は任意の場所でのアオサの量、干潟の写真を投稿できます。入力項目は少なく、比較的難易度が高いページです。谷津干潟のことに詳しい方へおすすめです。

定点アオサ観測

「定点アオサ観測」は3箇所の定点よりアオサの詳細な情報を投稿できます。入力項目は多く、比較的難易度が高いページです。谷津干潟のことに詳しい方へおすすめです。

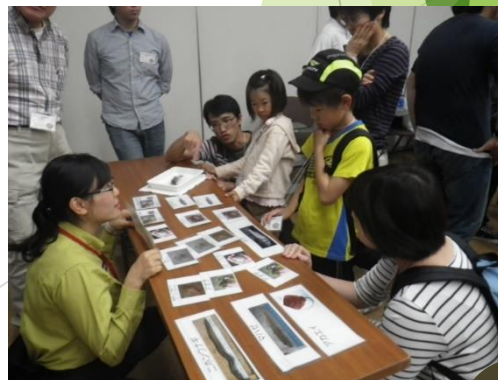
どこでもアオサ観測 報告フォーム

どこでもアオサ観測は、国指定谷津鳥獣保護区保全事業の一環として実施されています。国指定谷津鳥獣保護区保全事業の一環として実施されています。国指定谷津鳥獣保護区保全事業の一環として実施されています。

＜携帯・スマホのアクセスはこちらから＞

環境省 関東地方環境事務所

＜住民参加イベントの実施＞ (H24～)



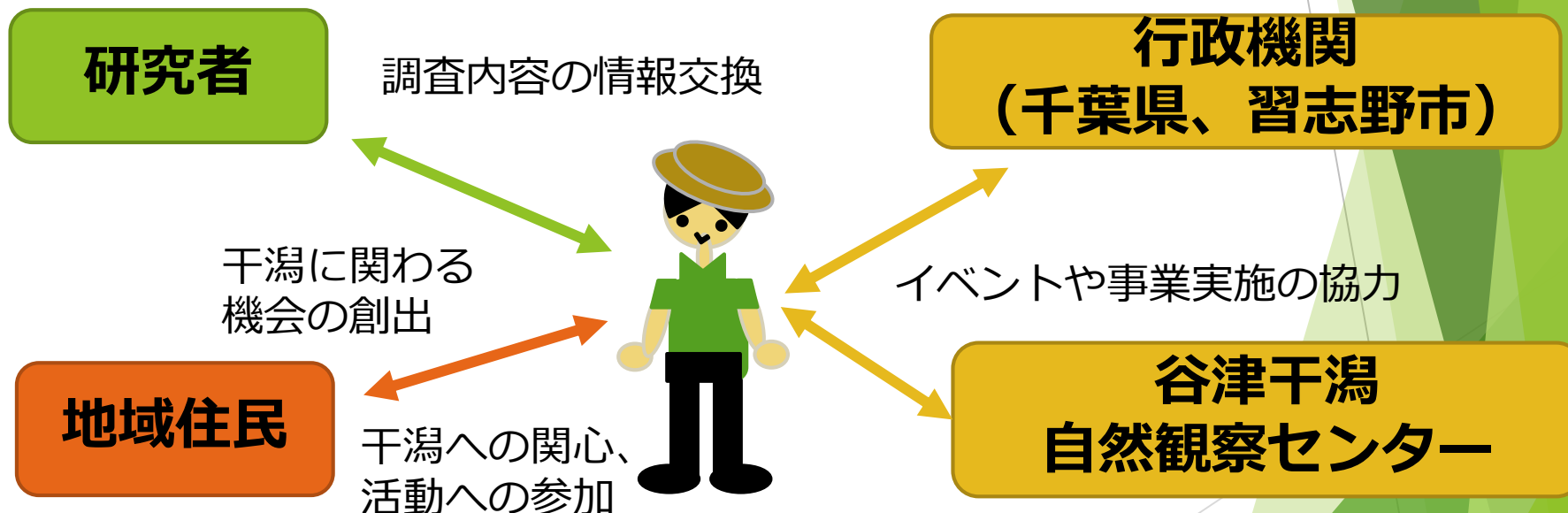
谷津干潟保全事業の紹介

～平成29年度の取り組み予定～

- ・底質性状・底生生物調査
- ・アオサの分布・腐敗状況調査と除去活動
- ・谷津干潟ユースとのホンビノスガイ共同調査
- ・カルバートの状況に応じた干潟環境のシミュレーション
- ・三角干潟の堆積物除去工事と貝殻有効活用のための実証実験
(10月頃～)
- ・住民参加型イベントの開催(7月下旬頃予定)
- ・検討会の開催

最後に・・・

環境省としては、保全事業という枠組みを目一杯つかって、干潟環境が良い状態で維持管理できるような基礎をつくるとともに、地域と干潟をつなげる手伝いをしていきたい。



ご清聴ありがとうございました。